

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2023年度)

施策コード	34
-------	----

まちづくりの方針	3 産業・環境・市民生活
施策	4 環境保全
施策のめざす姿	持続可能で快適なまち(自然共生、循環、低炭素、安全安心)の実現に向けた取組が行われるとともに、これらの取組を支える人づくりや連携・協働のあり方が構築されています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
市区域におけるCO ₂ 排出量(千t-CO ₂)【生活環境課】	357	算定中	算定中				344	311
市民1人1日当たりのごみ排出量(g)【生活環境課】	743	747	750				729	704
資源化率(%)【生活環境課】	14.0	15.1	15.4				19.1	21.6

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 身近な水と緑の保全・創出	生活環境課	天王川公園周辺の生物多様性モニタリング調査を行いました。 生物多様性について市民への啓発を進めます。
2 資源循環型社会の形成【重点】	生活環境課	食品ロスの削減を目的とした専用WEBサービス「タベスケ」の運用を始めました。 ごみ出しマナーや分別方法の周知啓発により、資源化促進に努めます。
3 地球温暖化の緩和策と適応策の推進【重点】	生活環境課	環境政策に積極的に取り組んでいる自治体を訪問し、取組事例を研究することで、CO ₂ 排出量削減に向けて自治体としてどのような提案ができるのか検討しました。 地球温暖化対策の啓発に努めるとともに、中小企業向けの省エネセミナーを実施します。
4 魅力ある生活環境の創造	生活環境課	これまで実施していた住宅用太陽光パネルや蓄電池の補助金のほかに、V2Hと呼ばれる電気自動車等充電設備への補助金を追加しました。 環境負荷の少ない電気自動車の普及啓発を進めます。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	コロナ禍の影響が残る中で出来ることを模索してきた状況ではありますが、食品ロス削減を目的としたWEBサービス「タベスケ」の導入、住宅用再生可能エネルギーの利用促進事業として住宅用地球温暖化対策設備の補助対象の拡充(V2H)など、全体としては施策の目指す将来の姿に向けて進んでいます。	評価 B
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	当市の財政状況や社会情勢を鑑みながら、持続可能で快適なまちの実現に向けて、検討を進めていきます。特に地球温暖化問題は喫緊の課題であり、市民・事業者・自治体がともに力を合わせて対策に取り組んでいかなければなりません。その中で市としては引き続き検討を重ね、具体的な取組事例などを提案していきます。	方針 継続